



調査研究事業D

「海洋秩序構築の多面的展開

——海洋「世論」の創成と拡大に向けて」

困難なテーマに取り組む調査・研究会活動、日本の政策サークルを底上げする実施体制

中国の積極的な海洋進出など、既存の海洋秩序の動揺に対して国際社会が有効に対処しきれていない中、従来のいわゆる「国際法アプローチ」に加え、「沿岸国の能力構築支援」、「海洋経済連携」、「海洋グローバル・イシューへの取組」などの新たな切り口から、国際的な海洋「世論」の醸成に向けたわが国及び国際社会全体にとって望ましい海洋空間創出の糸口を探り、そのための方策を取りまとめている。

その目的を達するために、海洋国際法、海洋環境、海洋開発など海洋の専門家、国際政治、中国政治など、幅広い専門家によるチーム編成した。

主要な研究者
合計10名

(うち若手6名、女性3名、首都圏以外の在住者5名)

60%

30%

50%

特に、将来を有望視される選りすぐりの若手・中堅専門家も名を連ねる。
これらメンバーが各種の研究会合、海外シンクタンクと共催のセミナーにおける積極的な登壇・報告、さらに論考執筆などを行い、日本の政策サークルの裾野を拡大し、日本の主張の世界への積極的発信と国際世論形成への参画も強化する。

公益財団法人 日本国際フォーラム
The Japan Forum on International Relations (JFIR)

[メルマガ登録](#)
[お問い合わせ](#)
[サイトマップ](#)
[人材募集](#)

[English](#)

[ホーム](#)
[日本国際フォーラムとは](#)
[組織](#)
[活動](#)
[ご入会](#)

研究会「海洋秩序構築の多面的展開 ——海洋『世論』の創成と拡大」

開催日：2021年2月10日 更新日：2021年3月1日

本研究会は、中国の積極的な海洋進出など、既存の海洋秩序の動揺に対して国際社会が有効に対処しきれていない中、従来のいわゆる「国際法アプローチ」に加え、「沿岸国の能力構築支援」、「海洋経済連携」、「海洋グローバル・イシューへの取組」などの新たな切り口から、国際的な海洋「世論」の醸成に向けたわが国及び国際社会全体にとって望ましい海洋空間創出の糸口を探り、そのための方策を取りまとめるものである。

以上の目的を達成するために、本研究会は、以下のメンバーを中心に、調査・研究活動を実施している。

メンバー構成

主査	伊藤 剛	JFIR上席研究員／明治大学教授
顧問	坂元 茂樹	同志社大学教授／神戸大学名誉教授
メンバー	石川 智士	東海大学教授
	合田 浩之	東海大学教授
	小森 雄太	笹川平和財団海洋政策研究所研究員



諸外国シンクタンク・有識者との関係強化と 日本の主張の世界への発信

★多彩な世界各国の主要シンクタンク・
有識者との共同研究・研究交流を実施★
主な共催セミナー・シンポジウム

International Symposium
March 26, 2021 (Friday)
18:00-20:00
Zoom Webinar

Who Owns the Ocean?
Formation and Development of a
Cyclical Maritime Order

Co-hosted by:
Japan Forum on International Relations (JFIR)
Srinakharinwirot University
Asia Center, University of the Philippines

2020年3月26日
国際シンポジウム
「海は誰ものか！
循環型海洋秩序の
形成と発展」

共催：
タイ・シーナカリン
ウィロート大学、
フィリピン大学・
アジアセンター
(写真左)

2021年3月19日

日中対話（国際セミナー、写真下）

「日中海洋問題の出口を探る」

共催：上海時代経済発展研究院上海海洋フォーラム





日本の外交・安全保障問題に関する理解増進

【充実した特設ページ による情報発信】

当フォーラムの日英ウェブサイトに特設ページを開設。（写真左下）



事業の目的を端的に説明し、以降「メンバー構成」、「コメンタリー」、「活動日誌」、「報告」、「動画配信」、「出版案内」、「政策提言」などの項目に分けて事業成果をHPに掲載し対外発信。（写真中央下）

活動日誌



2020年12月18日 第6回研究会合

佐藤孝一桜美林大学教授より「南シナ海紛争の現状とアメリカ・日本」をテーマに報告が行われ、出席者21名との間で意見交換がなされた。



2020年12月14日 第5回研究会合

渡邊昭夫東京大学名誉教授より「望ましい海洋空間の創出に向けて」をテーマに報告が行われ、出席者20名との間で意見交換がなされた。



2020年11月17日 第4回研究会合

合田浩之メンバーより「船の船籍・船会社の国籍」をテーマに報告が行われ、出席者26名との間で意見交換がなされた。

分科会の紹介、テーマに関する最新の国際情勢を開設した対談動画のYouTubeでの公開。（写真右下）

オンタイム、あるいは録画で研究会合、セミナー、シンポジウムの模様をYouTubeにて積極的に配信。

海洋秩序をめぐる
国際法や海洋法による
アプローチは有効か？

